



広島西部山系砂防事務所 記者発表・配付資料

記者発表資料
配布日時

令和3年8月16日
14:00 配付

■同時発表先：合同庁舎記者クラブ、広島県政記者クラブ、中国地方建設記者クラブ

速報

～安佐南区の2基の砂防施設で土石流を止めました！～

国土交通省広島西部山系砂防事務所では、平成11年6月29日の土砂災害を契機として、土石流による人的被害、家屋被害、重要な交通網の途絶などの被害を軽減することを目的として、平成13年度から砂防事業を実施しています。

8月12日からの前線による降雨により、広島市安佐南区相田7丁目および緑井8丁目で土石流が発生しましたが、砂防堰堤で土石流を捕捉し、下流の住宅地への被害を防ぎました（詳細は別紙をご覧ください）。

今後、溪流調査を実施し、堆積した土砂の撤去を行うことを予定しています。

なお、今後も降雨が予想されておりますので十分警戒していただくとともに、土砂災害警戒情報や自治体からの情報等に注意し、早めの避難行動を行って下さい。

広島西部山系砂防事務所の事業は、HPに掲載していますのでご覧下さい。

< H P > http://www.cgr.mlit.go.jp/hiroshima_seibu_sabo/

<Twitter> https://twitter.com/mlit_hirosuna

<問い合わせ・連絡先>

国土交通省 中国地方整備局

広島西部山系砂防事務所 082-212-1010（代表）

【担当者】 副所長（技術） くにとき 國時 正博

調査課長 くまもと 熊本 勝史

災害発生日：令和3年8月14日
 降雨状況：累加雨量 576mm
 (8月12日2時～15日1時)
 時間最大雨量 33mm
 (8月12日8時～9時)
 ※相田雨量観測所(広島県)

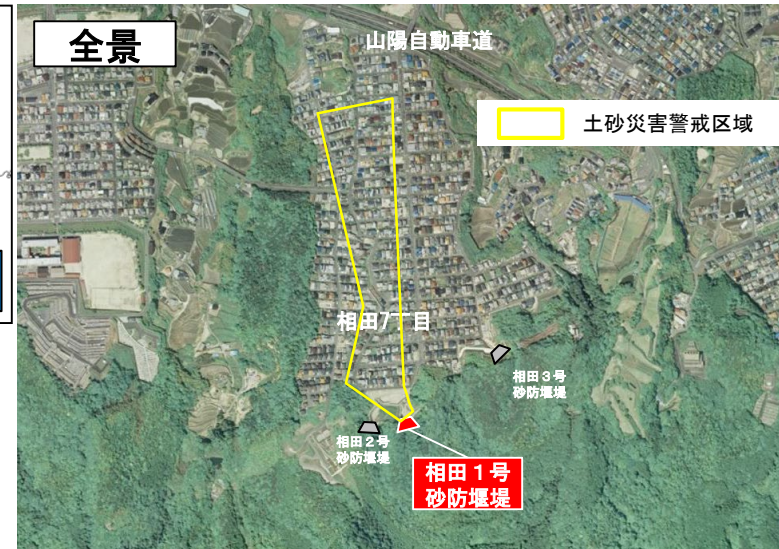
発生箇所：広島県広島市安佐南区相田7丁目
 崩壊状況：土石流捕捉量 約1600m³
 状況：8月12日からの大雨により土石流が発生したが、砂防堰堤及び遊砂地で土砂及び流木を捕捉。
 下流地区への被害を未然に防止した。
 (参考) 対象溪流の土砂災害警戒区域内の人家戸数653戸

土石流発生前 (R3.5.26撮影)



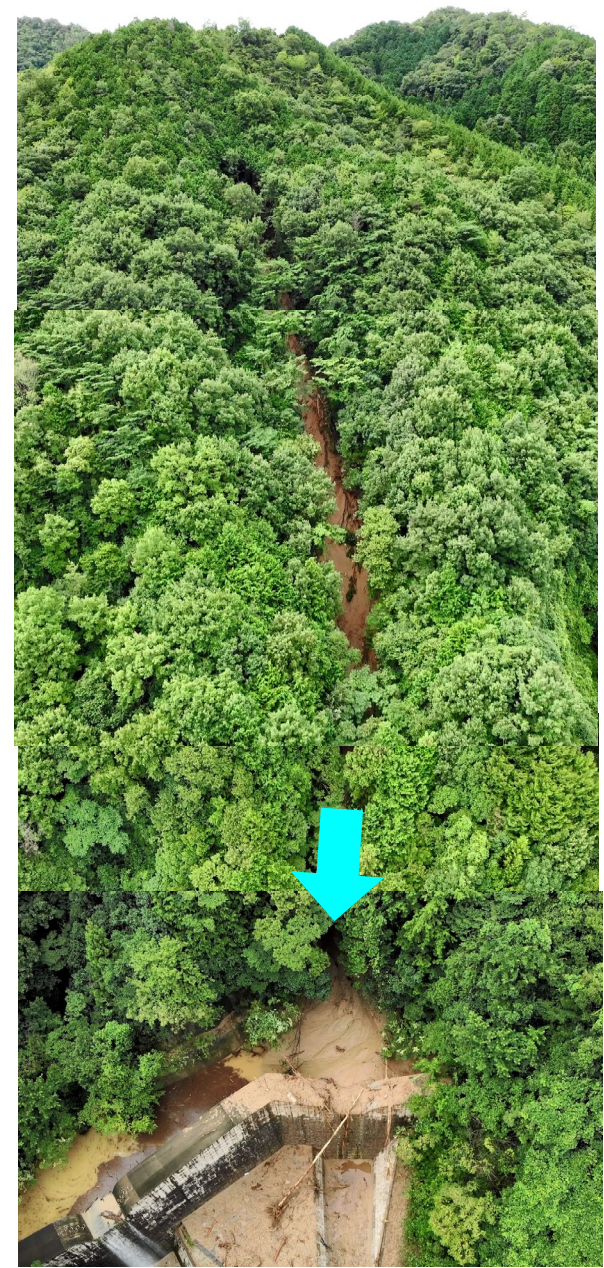
堰堤の諸元
 堤長 L=61.0m
 堤高 H=10.5m
 堆砂容量 V=約1670m³

完成
 平成16年7月



土石流発生直後 (R3.8.15撮影)





災害発生日：令和3年8月14日

降雨状況：累加雨量 541mm
 (8月12日2時～15日1時)

時間最大雨量 37mm
 (8月12日8時～9時)

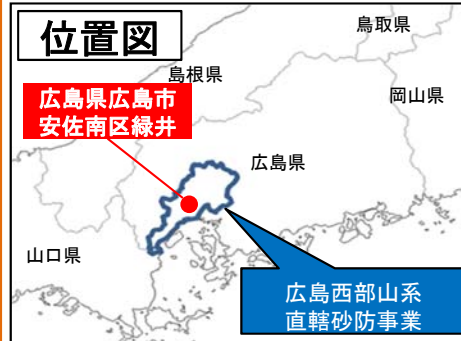
※高瀬雨量観測所(広島県)

発生箇所：広島県広島市安佐南区緑井8丁目

崩壊状況：土石流捕捉量 調査中

状況：8月12日から的大雨により土石流が発生したが、砂防堰堤で土砂及び流木を捕捉。下流地区への被害を未然に防止した。

(参考) 対象溪流の土砂災害警戒区域内の人家戸数252戸



土石流発生前 (H29.3.9撮影)



堰堤の諸元

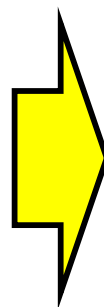
堤長 L=86.0m

堤高 H=12.5m

堆砂容量 V=約25000m³

完成

平成28年3月



土石流発生直後 (R3.8.15撮影)

